

ICU 患者の動脈圧ラインに関する研究

1. 研究の対象

2022 年 1 月～12 月に大阪大学医学部附属病院の ICU に入院された成人の方

2. 研究目的・方法

研究期間：研究機関の長の許可日 ～ 2024年 3月 31 日

動脈圧ラインとは、動脈に直接カテーテルを挿入することにより、血圧をリアルタイムでモニタリングすることや、苦痛なく動脈血採血を行うことが出来るデバイスです。しかし、動脈にカテーテルを挿入している状態のため、出血や感染症等の合併症のリスクも存在しています。

現在、動脈圧ラインは、集中治療室において、厚生労働省の定める特定集中治療室管理料の A 項目(モニタリング及び処置)に含まれており、持続的な血圧モニタリングや動脈採血のデバイスとして使用されています。しかし、動脈圧ラインの挿入・抜去の根拠となる明確な基準は示されておらず、施設毎もしくは、個々の医師の判断に委ねられているといった現状があります。

実際の集中治療の現場において、動脈圧ラインの使用についてカルテ情報を用いて、どのタイミングで動脈圧ラインが使用・抜去されていたかを調査することにより、病態と挿入・抜去の基準の関連についての考察を行います。本研究において、動脈圧ライン管理についての現状を把握することによって、看護師を含む医療職者が安全に動脈圧ラインを管理することの一助となると考えております。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、カルテ番号、投与薬剤、血液検査結果等

通常診療における検査結果、薬剤投与を含む診療内容のみを用い、本研究に用いる試料はありません。

本研究で収集する研究対象者の個人情報を含むデータは、電子カルテから情報を収集する際に氏名・住所等の個人情報を削除して、研究用の識別コードを付与し、研究対象者を識別するための表を作成します。研究対象者を識別するための表は研究責任者が厳重に保管します。研究対象者等の求めに応じて、研究対象者の情報の利用を停止します。その場合は、下記4. お問い合わせ先にご連絡ください。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大阪大学医学系研究科 保健学専攻 看護実践開発科学講座 清水安子

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 1-7

代表電話番号：06-6879-5111

研究責任者：

大阪大学大学院医学系研究科 看護実践開発科学講座 清水安子